

WG 活動報告

7. 骨髄異形成症候群(MDS)【小児】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者:渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
菊池 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
加藤 元博	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学第一講座
工藤 寿子	静岡県立こども病院	血液腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科

② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2010/11./22	名古屋医療センター	今後の方針について
2011/1/29	東京医科歯科大学	研究概要書再提出について

④ WG の今後の活動方針・抱負など

小児骨髄異形成症候群(MDS)は、稀であり、様々な病型を含みます。治療方針は、経過観察、免疫療法、化学療法、造血細胞移植と多岐に渡りますが、その決定にも苦慮することが少なくありません。我々のグループでは、統一された移植データベースを後方視的に解析し、本邦における小児 MDS に対する造血細胞移植の実態を把握することで、移植法や治療方針決定の標準化の基盤となるデータを構築することを目標とします。これにより、小児 MDS の治療成績向上が期待されます。